

Live! ネットセミナー

芸団協
GEIDANKYO
芸団協セミナー 2010

海外研修 サポートセミナー2010

【演劇人にとって海外で研修するということ】

東京で開催される芸団協セミナーを、仙台・大阪・広島・福岡の会場にインターネット中継します。
これまで地域では受けることが出来なかつたセミナーを地域にいながらにして受けられるようする試みです。

2010年3月26日(金) 報告交流会 ▶ 19:00-21:00

*映像・音声の品質は、YouTube程度となります。当日の回線状況によっては、映像・音声が一部乱れる可能性もあります。ご了承ください。

ゲスト▶長塚圭史

(劇作家・演出家・俳優/阿佐ヶ谷スパイダース主宰)

進行▶大堀久美子

(フリーエディター)

【研修報告会内容】

長塚圭史さん(阿佐ヶ谷スパイダース)がロンドンでの研修期間に体験したことのご報告に興味のある方はぜひ、ご来場ください。これまで海外研修してきた人たち、これから海外研修したい人たちが、交流し相互に情報交換していくことを意図したセミナーです。

大阪会場

精華小劇場

(大阪市中央区難波3-2-4)

参加費▶1,200円

申込方法

下記問い合わせ先に、以下の事項を記載の上、お申込みください。

電子メールの場合は、件名を「ネットセミナー希望」としてください。

1.名前 2.電話番号 3.メールアドレス 4.所属(あれば) 5.聞きたいこと

問い合わせ
申込先

NPO法人 大阪現代舞台芸術協会 (DIVE)

メールアドレス ▶ info@ocpa-dive.com TEL ▶ 080-5339-6475

DIVEサイト ▶ <http://ocpa-dive.com> ※ネットセミナーのより詳細な情報はDIVEサイトをご覧ください。



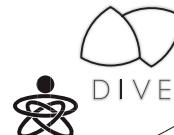
【主催】NPO法人 大阪現代舞台芸術協会 (DIVE) / 社団法人日本芸能実演家団体協議会

【共催】社団法人日本劇団協議会 (東京開催セミナー) / 精華小劇場活用実行委員会 / 大阪市

【協力】文化庁芸術在外研修員の会 / Arts Managers' Net / NPO法人フリンジシアタープロジェクト

【広報協力】社団法人日本照明家協会 / 日本舞台美術家協会 / 日本舞台音響家協会 / 日本舞台監督協会

【助成】平成21年度文化庁芸術団体人材育成支援事業 / 社団法人私的録音補償金管理協会 (sarah)



こんな人にお勧めします！

▶ 将来的には海外研修に行きたいが、まだ早いと思っている人

海外研修に行こうとすると数年がかりで準備が必要になります。
早いうちに目的を明確させて準備をすることが、実現に向けて大切になります。

▶ 芸術・文化に関する仕事をしている／目指している人

演劇などの芸術に携わる人は、自分で道を切り開く必要があります。
海外研修という一つの選択肢を考えることで、先を見つめる一助になると思います。

▶ 英語が苦手だから、海外研修なんて考えていない人

海外研修に行かれた方の多くは、改めて語学の勉強をされています。
セミナーで語学に関する苦労話を直接聞いてみてください。

▶ 海外研修は考えていないが、海外公演には興味がある人

大阪会場ではネットセミナー以外にも独自のゲスト企画もあります。
ゲストには、海外公演の経験豊富なウォーリー木下さんをお迎えします。

▶ 大阪や関西で芸術活動を続けていこうと考えている人

大阪や関西での芸術活動は、首都圏と比較すると環境的に不利な面が多いといわれます。
しかし、情報発信のツールが地域の距離を縮めてきていることも確かです。
ネットセミナーを実際に受講することで、多様なコンテンツを配信する可能性を感じてください。

「海外研修なんて自分には関係ない」と思っていませんか？

当日のタイムスケジュール

18:30 開場

19:00～21:00 ネットセミナー「演劇人にとって海外で研修するということ」
ゲスト:長塚圭史(阿佐ヶ谷スパイダース)

21:00～21:30 大阪ゲストトーク「海外で公演をするということ」
ゲスト:ウォーリー木下(sunday/The Original Tempo)

21:30～22:00 交流会

大阪会場
ゲスト

ウォーリー木下

※ゲストは本人が会場にきます
(sunday/The Original Tempo)

1971年東京都出身。1993年神戸大学在学中に劇団☆世界一団(現Sunday)を結成。劇団☆世界一団の代表で、全ての作品の作・演出を担当。作・演出家として外部公演も数多く手がけるほか、演劇ワークショップ講師やシナリオライターとして、また、自らプロデューサーとして数々のステージを手がけ、幅広く活躍中。2004～2007年、大阪ショートプレイフェスティバル事務局代表を務める。

The Original Tempoでは、「台詞を一切使わないパフォーマンスグループ」として、2008年、2009年に世界のパフォーマーが集まるフェスティバル、英国「エジンバラフリンジフェスティバル2008」において『Shut up, Play!』(喋るな、遊べ)を発表し、「エジンバラ・トータル・アワード」ノミネート、演劇批評紙SCOTSMANにて4つ星獲得などの評価を得る。